

自己評価 令和3年度 赤坂台こども園

テーマ 「よく見て、よく考えて、なんでもする子」

自然と仲良し

0・1才の目標・ねらい

- 野外で過ごすことを楽しむ
- 気候の変化や季節の移り変わりを感じる
- 運動機能の発達を促す

ふりかえり

- 初めての園生活に不安な様子が見られたが毎日の生活の中でスキンシップを十分とることで、信頼関係を気づくようにした。園生活に慣れると好きな遊びを楽しむようになり、戸外で過ごす時間も十分に取るようにした。戸外ではプランターの花を見たり、外気浴をすることで心地よい自然に触れ、より安定した生活が送れるようになった。
- 感触遊びも経験したが、遊びを嫌がったり戸惑ったりする子どもが多かったので、まず先に保育者が遊びをやってみたり、何回も遊ぶようにした。すると自らしようとする姿があり、感じたことを表情や行動で表すようになった。保育者はその様子を理解し思いを共感することで子どもの満足感につながるようにした。
- 自然物に触れたり、見たりにおいを嗅いだりなど遊びの中で五感を使って知ることもあった。園外で触れるものは初めてのものは多かったが、四季を通して季節にあった内容を用意したことで無理なく感じる事ができた。
- 歩いたり、走ったり、思い切り体を動かすことが楽しいと感じ、からだのバランスも取れるようになり、動きも安定してきた。開放的な中で過ごすことが満足感につながり体力が付くだけでなく、心の安定、好奇心にもつながった。不安定な場面はあるが子どもの行動を理解し、状況にあった援助をするようにした。

- 言葉の獲得には、絵本を見たり一緒に単語を言ってみたり、身近にあるものを伝えることで言葉の獲得につなげた。子どもからの言葉の発し方は個々に違うが、受け止めをしつかりすることで名前を知り、子どもから言ってみようとする姿があり、その姿を認めることで、子ども自身の満足にもなり、発語や二語文にも広がった。

2, 3才の目標・ねらい

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">● 環境の変化に気づき、興味や関心を持つ● 体力の増進を図る |
|---|

ふりかえり

- 1年を通し、季節の草花や生き物に触れ、子どもが興味関心が持てるように保育者間でアイデアを出し合い、取り組みを考えて遊びを進めた。春は草花を見つけることを楽しんでいて、それらを使って遊べるよう保育者がきっかけを作ったり見本を見せ遊びが発展できるようにしたことで、自分たちで考えて遊べるようになってきた。
- 作物の生長では、観察するだけではなく、育てた野菜を食べる、梅雨期の雨や雷、夏のセミの声、紅葉や雪など、「見る、聞く、匂う、触る、食べる」の五感を感じられるようにした。季節も感じられるように声掛けをすることで、子どもなりに理解することはできたが、疑問に感じることもあり、「何故？」の質問もあった。その質問に保育者が丁寧に答えることで次にもつながることがあり、友達同士で伝え合う姿も見られた。
- 感触遊びでは、砂、小麦粉、片栗粉・スライムなどいろいろな素材の感触を楽しんだ。水を加えることで感触の違いや硬さに気付けるように声をかけた。感触遊びが苦手な子どもには色をつけるなどして変化を楽しんだり、他事の遊ぶ様子を一緒に見ながら保育者が遊びを見せることで、遊びに参加できるようにした。
- 戸外で体を動かして遊ぶことで体力もつき、できなかった事にも根気よく取り組むようになった。できたことを保育者も一緒に喜び達成感や充実感が味わえるようにした。また、友だちを誘い、ルールのある遊びを楽しんだり、遊びを共有する姿も見られた。
- 個々の関心には差があったが、クラスで取り組む時間が多くなってしまい、個々の取り

組みに対しての関わり方を色々考える必要があった。年齢的にも個人差があるので一緒に行うものとそうでないものとのを明確にすると、それぞれの成長が感じられたと反省する点もある。保育者同士では話し合いを次回の取り組みに生かせるようにしたが、不十分なところもあった。

4, 5才の目標・ねらい

- 自発的に活動しようとする
- 状況に適応できるようになる
- 身体的バランス能力を育む

ふりかえり

- 年間のテーマに沿って春から順序を立てて取り組んだことで、自分たちで考えることが上手になった。身近な生き物や草花に興味を持ち、気になったことを調べたり遊びに取り入れたりすることで、自然に対しての興味、関心が向上し、知識を他児と共有したりあそびの展開が広がった。その姿を褒めたり他児に伝えることで、認められる喜びから自信にもつながった。
- 遊びの中ではルールを守る大切さや友だちとの関わり方など習得するものは多く、それらは精神面、体幹や体力向上などにもつながり様々な成長も感じられた。子どもによって取り組む姿勢、興味関心に差はあるが、その子にとって何が大切なのかを考えて援助することで、体験や経験を生かすことができた。
- 体力面では園庭で体を動かしたり、園外では崖を登ったり階段を下りたりして体全体を使って遊ぶことを楽しんだが、運動を苦手とする子どもの取り組み方をもう少ししっかり考えるようにするとみんなで楽しめるものになったのではないかと反省する。遊びの方法を伝えるだけでなくみんなで一緒にする、友だち同士で応援するなど、成功、満足につながることを知らせる機会をもっと作るようにすれば良かった。
- 1年間を通して何を主として取り組むかを考えたことでしっかり取り組めたが、その時ばかりの取り組みになってしまうこともあり、継続的なものにつなげることができなかったこともあった。年間のテーマがあるので、もっとそこを意識することで他の学びをたくさんあったと感じる。